

薩摩硫黄島の火山活動 -2009年10月～2009年12月-* Volcanic Activity of Satsuma-Iojima Volcano, October - December, 2009

福岡管区气象台 火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台
Volcanic Observations and Information Center,
Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA
Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過した。火山性地震は、2009年3月下旬以降やや多い状態が続いている。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要である。

平成19年12月1日に火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）を発表した。その後、予報警報事項に変更はない。

○ 概況（2009年10月～12月）

・噴煙活動（第2図）

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上100～200m（最高高度は400m）で経過した。

三島村役場硫黄島出張所によると集落（硫黄岳の西南西約3km）への降灰は確認されなかった。

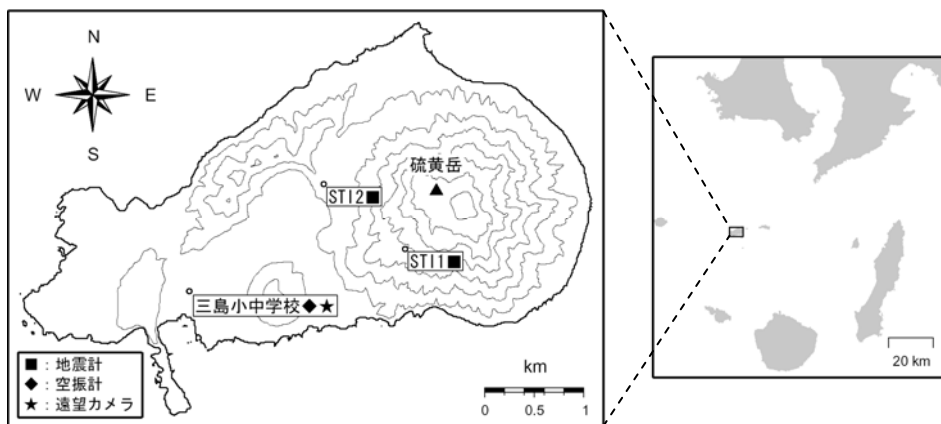
・地震、微動活動（第2図）

火山性地震は、2009年3月下旬以降やや多い状態が続いている。

火山性微動は観測されなかった。

・上空からの観測結果（第3図）

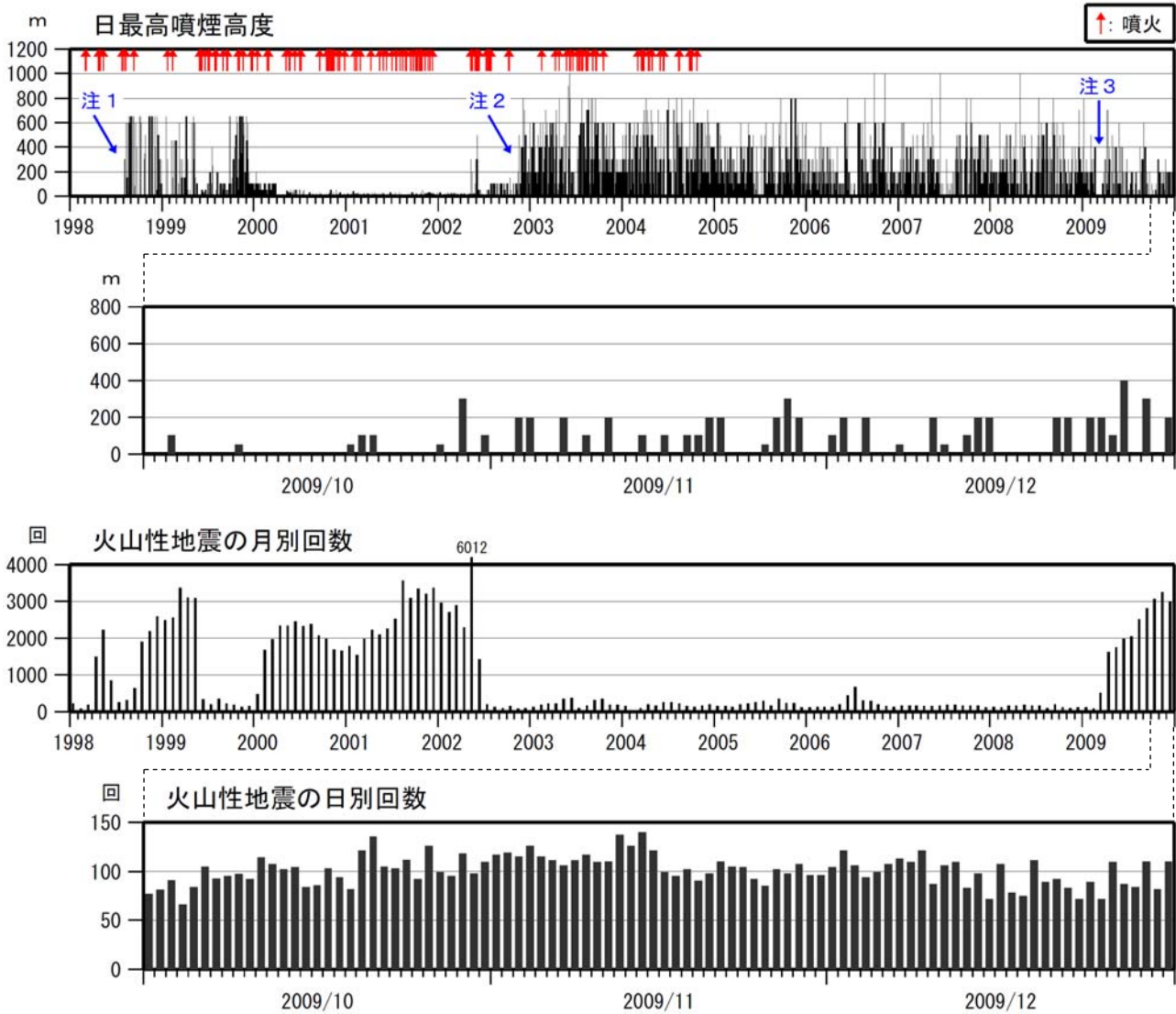
10月15日、12月22日に鹿児島県及び海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力により実施した上空からの観測では、硫黄岳周辺の状況や地表面温度分布に大きな変化はなかった。



第1図 薩摩硫黄島 観測点配置図

Fig.1 Location map of permanent observation sites of JMA around Satsuma-Iojima volcano.

この地図は、国土地理院発行の『数値地図10mメッシュ（火山標高）』を使用したものである。



第2図 薩摩硫黄島 火山活動経過図 (1998年1月～2009年12月)
 Fig.2 Volcanic activity of Satsuma-Iojima Volcano (January, 1998 - December, 2009).

<2009年10月～12月の活動状況>

- ・硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上100～200m（最高高度は400m）で経過した。
- ・火山性地震は、2009年3月下旬以降やや多い状態が続いている。

注1 1998年8月1日

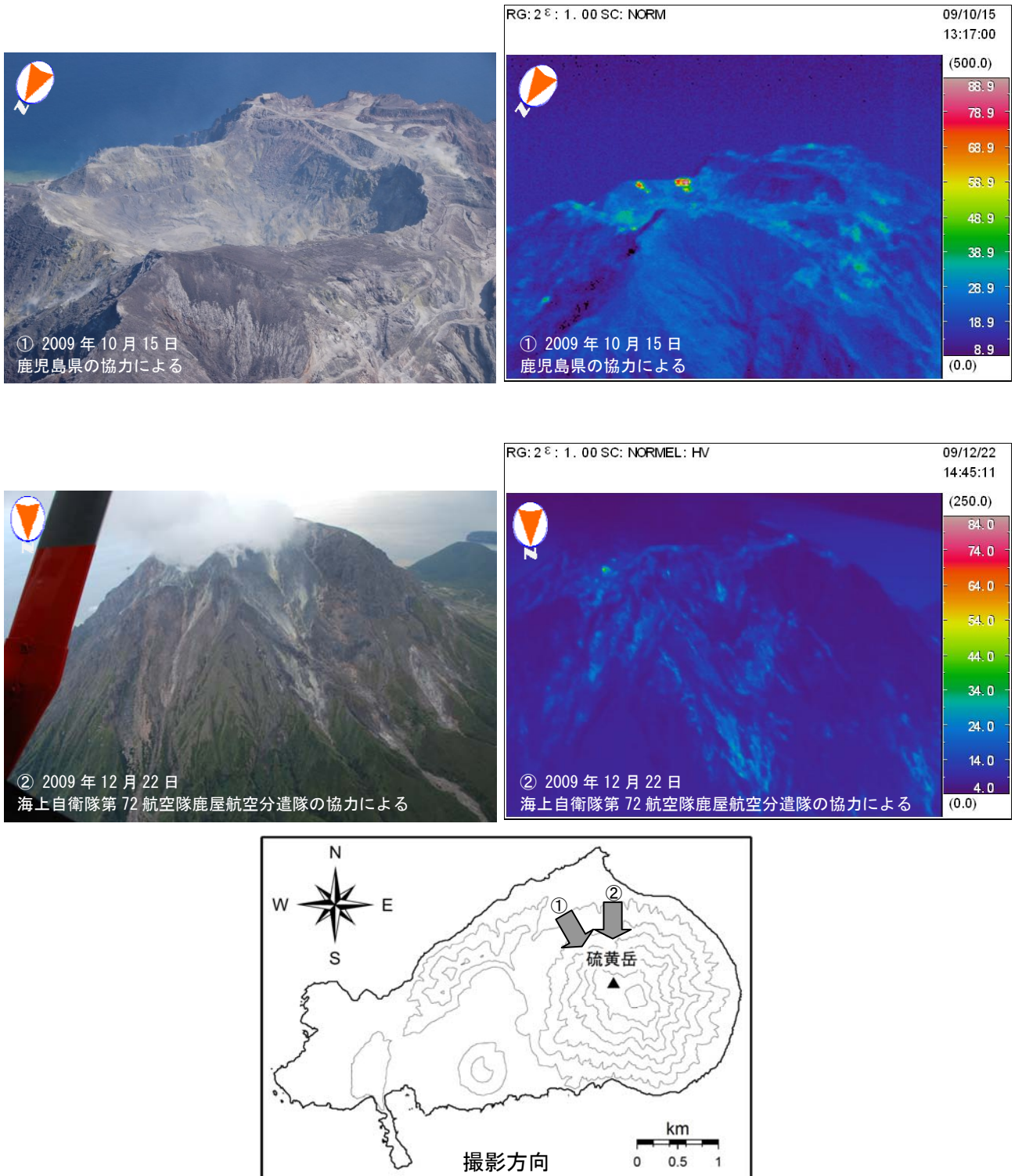
注2 2002年11月16日

注3 2009年2月23日～3月21日

三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

遠望カメラ障害のため噴煙は不明。



第3図 薩摩硫黄島 硫黄岳周辺の状況と赤外熱映像装置による地表面温度分布
Fig.3 Visual and thermal images of Iodake.

鹿児島県及び海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力により実施した上空からの観測では、硫黄岳周辺の状況や地表面温度分布に大きな変化はなかった。

熱画像は図中の熱異常のない部分の温度平均値で表示レンジを調整している。

この地図は、国土地理院発行の『数値地図 10mメッシュ（火山標高）』を使用したものである。